

少年部（中学生）の投球数制限について

1. 競技に関する連盟特別規則

投球制限【少年部】

現行	改定
投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1日7イニングまでとする。ただし、タイブレーク方式の直前のイニングを投げ切った投手に限り、1日最大9イニングまで投げることができる。タイブレークとなった場合に投げることができる投手は、タイブレーク方式の直前を投げ切った投手か、新たな投手（その日1球も投げていない選手）に限り、1日2イニングまで投げることができる。 ～以下省略～	投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、下記の通りとする。 ・大会中の1日の投球数…100球 ・1週間の投球数…350球 ※試合中に100球に到達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。 ※少年女子も同様の取り扱いとする。

補足説明

- ① 1日100球以内であり、1日100球を超えない範囲での連投は可能です。
- ② 投手が他のポジションに就いてから、再び投手に戻ることは可能です。
- ③ ボークを宣告されたにも関わらず、投球したものは投球数にカウントする。
- ④ 1週間の投球数350球は、今大会の試合における投球数のみをカウントする。
- ⑤ 試合中に1週間の投球数350球に達した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
- ⑥ 投球数の誤りが発覚した場合は、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
- ⑦ 大会本部において投球数の管理を行うが、チーム内においても投手の投球数の管理および投球障害の予防に取り組むこと。

以上